

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスen和田町		
○保護者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 7 年 3 月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	令和 6 年 4 月 1 日		～ 令和 7 年 3 月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 3 月 12 日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童、保護者からの満足度が高い。	・児童の課題(ニーズ)に取組む事が出来ている。 ・課題に対して個別支援をしている事、電話や送迎時に報告や相談を行っている。	・全体的に、母親と話しをする機会は多くあるが、父親と接する機会が少ない。父親参観等の機会を設け、父親とも繋がるようにしていく。
2	・支援提供に対して、丁寧に行えている。	・個別支援計画、長期休暇時のプログラムをチームで検討する事が出来ている。また、会議等に参加していない職員に対しては、個別に話しをしている。 ・支援開始前に、ミーティングで個別支援計画・活動内容等を確認している。 ・面談等の保護者との情報交換は、掲示して職員間で共有している。	・インフォーマルなアセスメントを招き合わせる機会が少ない為、定期的に確認する機会を設けていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時等の対応の意識が薄い。	・大きな事故、震災等が発生していない事もあり、緊急事態の時の対応方法等の意識が薄い。 ・マニュアルは作成しており、事務所に掲示してあるが、訓練室には無い為、確認不足になっている。	・緊急時マニュアル、災害等の避難先を訓練室に提示するように変更を行う。その際に、児童に説明を行う中で職員も意識を強くしていく。
2	日々の振返りが一部になっている。	・職員の勤務形態により、1日の振返りが難しい。又、パートタイム職員は、運動していない場合もある為、確認が遅くなる。	・簡単な業務日誌等を共通ソフトを使用して共有していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス en和田町

公表日 年月日

利用児童数 令和7年3月1日

回収数 21

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21				・広くて、個々のスペースが取れているように感じます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18			3		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	2		3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20			無回答1	・徒歩で通所すると落ち着いて活動に入れる事、宿題サポート等	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20				・都度、子どもの課題をしっかりと捉えた計画書を作成してもらえます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	21					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	4	3	11	・特に求めているないので、無くて良いです。	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19			2		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				・とても感じます。丁寧に支援してもらっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	10	6		5	・普段関わる事が出来ないで、挨拶できるだけでも安心します。 ・兄弟向けの交流については、分らないです。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19			2			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15	1	1	4	・もう少し写真、動画で様子が見てみたいです。（面談時でもOK）
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	2		7	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1		4	・長期休み時に行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1		2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			2	・速やかに連絡、説明して頂いていきます。 ・今まで事故等が発生していない為、分かりません。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	21				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	20		1		・行けば楽しんでいるとの事で安心して見送っています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス en和田町				公表日		年 月 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	・分散すれば特段問題なし。 ・人数が多い時は、外組・室内組で分かれている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2		・指導員の欠勤が重なり、指導員数が少ない時がある。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・間仕切りが多い為、指導員が送迎等で見守り人数が少ない時には、空間を区切っている。	・死角となる事がある事が気になる。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・定期的に、換気を行っている。 ・室内で走り回れるスペースが少ない為、その際には、外（公園等）に出掛けている。 ・創作等で、室内が汚れた時には、直ぐに片付けを行っている。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・静養室を設けている。 ・衝動性が高い児童は、静養室でプリント学習を行ったり、クールダウンを行っている。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	・ひやりはっと、事故報告書を元に改善をしている。 ・毎月1回職員間でのミーティングを行っている。	・ミーティングに参加をしていない指導員がいる。その際には、個別で伝えているが、周知が弱くなっている。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		・職員ミーティングで周知をしているが、意識が薄れる為、日頃から意識して取組めるようにしていく。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・職員ミーティングにて、全体で長期休暇時等のプログラムを決めている。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0					
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	1	・HPにアップしている。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・各担当者がアセスメントに作成しており、意見の摺り合わせを行っている。 ・児童それぞれのニーズ課題の整理を行い、個別支援計画書の作成を行っている。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・支援会議を実施して、児童発達支援管理者だけの意見にならないようにしている。 ・共通認識、理解を会議時に確認を行っている。	・支援会議に参加していない職員には、議事録提示のみになっており、共通認識が薄い事がある。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・利用開始前に、職員間で個別支援計画の確認、活動内容を話しあっている。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	3	・定期的に、アセスメントの更新を行っている。また、活動等を通して、アセスメントの確認を行っている。	・職員全体でインフォーマルなアセスメントを意識して行う事、視るポイントは徹底されていない。			

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に、「本人支援」、「家族支援」に支援の方向性を定めている事が多い。</li> <li>・生活訓練、余暇支援に力を入れている。</li> </ul>	・ニーズが少ない事もあり、「移行支援」は殆ど行っていない。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	・チームで活動内容（創作・調理）等を決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・16と準ずる。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個性、集団性を意識しながら支援計画の作成、活動を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・学校お迎え前に、ミーティングで送迎、活動・支援計画等の確認を行っている。打ち合せに参加出来ない職員には、個別に話しをする事、事務所のホワイトボードで各自確認を行えるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	5	・その日に必ず振り返りは行っていないが、全体で共有した方が良いと判断した場合には、翌日等の打ち合せで報告をしている。	・送迎終了後に退勤になる職員が多く、その日の振り返りをする職員が限定的である。又、毎回振り返りが出来ている訳ではない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、記録を取る事を徹底している。</li> <li>また、その日に記載が出来なくても、翌日に記載をしている。</li> <li>・支援検証から、児童の見立てを行い、改善に繋げている。</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・必要に応じて、モニタリングの見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	2	・児童のニーズに沿って、活動を組み合わせ実施している。	「4つの基本活動」が何かを理解していない指導員がいる為、実施はしているが、いいえの答えになっていると思われる。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と相談をしながら、活動内容を決める事、選択出来る機会を設けている。</li> <li>また、「選択」出来るように提示をイラスト、写真、実物を用いて、見て選んでもらう事を行っている。</li> </ul>		
関係機関や保護者との	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・管理者、児童発達支援管理責任者、担当者のいずれかが、参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2	・必要に応じて行いが、学校との連携を行う事が多い。	・保育、医療機関と連携を取る事は殆ど無い。また、医療機関に関しては、家族を通して、医師の見解等を聞いている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	・基本的には、家族から下校時間等の確認を行っているが、不明点は、学校迎えに行った際に、教員に確認をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	5	・就学前の様子は、家族から聞き取りを行っており、保育所等に確認を取る事は殆ど無い。また、保育所等から連絡が来た事も無い。	・情報共有、相互理解を行っていない。家族からの聞き取りから、利用前にフェイスシート等を職員間で確認をしている為、意見が割れていると思われる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	5	・ご家族から要望があった際には、ご家族を通して、進路先にアセスメント等を渡している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご家族から要望が無い場合には、特段、こちらから、情報提供は行っていない。</li> <li>・基本的には、管理者、児童発達支援管理責任者が行っている為、いいえの答えがある。</li> </ul>
31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	6		・基礎情報は、ご家族から聞いている事もあり、特段、連携はとっていない。	

の 連 携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7		・公園等で、地域児童と会う事があるが、一緒に遊ぶ事は、殆ど無い。(遊具の譲り合い程度)
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1	・基本的には、毎回参加している。	・参加者が限定的である
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎時、連絡帳で日々のやり取りを行っている。特に重大な事は電話で報告を相互にしている。 ・発達や支援状況、課題に関しては、モニタリング報告の際に、面談で保護者に伝えている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	・保護者交流会の際に勉強会を行っている時がある。	・勉強会の機会は、年に1回程度という事もあり、機会は少ない。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に報告を行っている。 又、変更がある場合には、送迎時、面談時に報告をしている。	
保 護 者 へ の 説 明 等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・主にモニタリング時期に意向を確認している。ご家族によっては、意向や相談を聞く機会を多く設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	・面談時に支援状況、新たなニーズに関しては、説明を行い、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・他福祉サービス、学校状況、発達段階の悩みを面談時、電話、送迎等で聞き取りを行い、助言を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・年に1回程度、保護者交流会の開催(児童交流イベント、勉強会)を行っている。	・保護者交流会に、きょうだい参加する事はあるが、きょうだい同士で交流する機会はない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・怪我、事故等の問題が発生した場合には、送迎、電話等で迅速に対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・広報誌、HP、Instagram等を活用している。(主に活動報告)	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・契約時等にSNSの件等を確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・ボランティア、学校等の関係者が見学に来られる。又、拒む事はしていない。	・地域住民を招待する事が無い為、意見が割れていると思われる。
	非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	3	・マニュアル作成を行っている。
47		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	3	・BCPの作成、見直しを行っている。	・46と準ずる。
48		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時、面談時に保護者に確認をしている。	・予防接種に関しては、聞けていない事もあ
49		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・食物アレルギーがある児童に関しては、調理活動、外食時等の際には、保護者に確認をしている。 ・食物アレルギーがある児童は、訓練室に掲示を行い、職員間で気をつけるようにしている。	
50		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・会社の安全計画に沿って行っている。	

応	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	・ご家族へ周知を行っている。	・毎回、説明をしている訳では無い為、ご家族、職員の意識は薄いと思われる。その事もあり、意見が割れていると思われる。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハット、事故報告書があった際には、チームで検討を行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待研修を行っている。また、ひやりはつと、例題を出しながら、個人、チームで考える機会を作っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	1	・必要時、保護者に事前説明を行っている。	